

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	湘南鎌倉総合病院	階数	地上6階、地下1階
建設地	神奈川県鎌倉市岡本1370番1	構造	RC造
用途地域	第1種住居地域・工業地域、準防火地域	平均居住人員	100人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年7月 予定	評価の実施日	2019年2月14日
敷地面積	42,103 m ²	作成者	株式会社伊藤喜三郎建築研究所
建築面積	6,682 m ²	確認日	2019年2月14日
延床面積	27,838 m ²	確認者	株式会社伊藤喜三郎建築研究所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外のオンサイト手法 ④上記+オフサイト手法

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.8

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項

総合		その他
建物の来院者ゾーンには積極的に自然光を取り入れた計画、敷地内は人と車両の動線分離と共に緊急車と一般車の分離など安全面に配慮すると共に、四季折々の姿を見せる植物や地域特有の植物などを設けて和みのある空間を計画した。		厨房から排出される生ゴミは、生ゴミ自体が消滅する水処理型生ごみ処理機を地下厨房近辺に配置することでゴミ削減に配慮予定。
Q1 室内環境 外気に面する部分より1m遮断熱材吹付として室内環境を効率よく保てる空間を構築するほか、基本的にカーテン・ブラインドなどにより必要に応じて日射制御可能な設えとしている。	Q2 サービス性能 人が多く往来するアトリウムは開放感のある吹き抜け空間とするが、空間が大きいことから床暖房を用いるなど寛げる環境を構築。	Q3 室外環境(敷地内) 北側の計画建物は7階建の計画を6階建に1層下げ、既存建物より北側に突出して計画していた部分は既存建物同様の面まで下げて圧迫感を無くした。救急車の入退出動線とその車両の入退出動線を分け、救急車と他車両の交錯による危険性を少なくした。
LR1 エネルギー ソーラーパネル付外灯による再生可能なエネルギーを利用した設備や省電力LED照明、蓄電池に依る無停電装置を計画するほか、既存のコーチェンシステムの更なる有効利用として排熱を空調の熱源に利用することを計画。	LR2 資源・マテリアル 井水を濾過して上水と同様の使用を行い節水するほか、衛生陶器は全て節水型を採用する。既存躯体は一部を再利用する。	LR3 敷地外環境 屋上緑化や敷地内の緑化率に配慮した。行政指導による雨水流出抑制のほか、敷地内を流れる水路を幅幅に加え遊水地を設けて豪雨などによる水害対策を行う。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される